

事業所名

I Try ジュニア 中浦和

放課後等デイサービス支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

17 日

法人（事業所）理念	いつの時代でも、どこの国でも、子どもたちの中には「よくなる、よくなりたい」という心が内在している。それは子どもに障がいがあっても無くても、非行を重ねる子も自殺を考える子もみんな同じである。「I Try ジュニア」は『子ども自身がおのずから持つ「よくなりたい」という心を信じること』を原点としている。子どもたちにできないことや嫌いなことを上から無理に頑張らせるのではなく、できることや好きなことをさらに深く広く伸ばしていくのが「I Try ジュニア」のやり方である。				
支援方針	①アタッチメントの形成により、信頼関係を築き、当教室で過ごす上で人間的な安心感のある場所として、心の安定を図る。 ②個々の児童にあったプログラムや話題、学習、関係性を構築し、さらに将来を視野に入れながら、当教室で過ごすうえで時間的な安心感のある場所として、心のゆとりを育てる。 ③一軒家という立地環境のため、部屋活動では聴覚視覚など個々の児童の感覚を守り、当教室で過ごすうえで空間的な安心感のある場所として、心の主体性を醸成する。				
営業時間	10 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり <u>なし</u>
支 援 内 容					
本人支援	朝の会	・時事、季節、興味関心、人間など広範な領域から生活単元学習の一環として、その都度説明したり、話し合わせたりする。（言語、社会性、認知）			
	学習の時間	・「I Try ジュニア メソッド表」に従い、自分に適した単元から学習を開始し、学年にかかわらずどんどん進める。 1. 算数科・数学科：「数と図形」分野＝認知・言語。「量と測定」分野＝認知・感覚・運動・言語。「図形」分野：認知・運動・感覚・言語。「数量関係」分野：認知・言語・運動。 2. 英語科：読みと和訳＝認知・言語・コミュニケーション。単語＝認知・言語。 3. 社会科&理科：知識・理解＝認知・言語。 4. 国語科：読みと理解＝認知・言語・コミュニケーション・感覚。			
	デジタルゲームの時間	・画面の映像にリードされながら間接的に複数で協力して遊ぶ。＝認知・言語・コミュニケーション・人間関係・運動。			
	昼食・調理実習	・楽しくおしゃべりをしながら、お弁当をゆっくり食べる。＝健康・生活・コミュニケーション・人間関係。 ・買い出し、調理、実食、片付け。＝健康・生活・認知・行動・コミュニケーション・社会性・言語。			
	アナログゲーム	・対面・複数でその場の雰囲気を感じとり、距離、温度、間（タイミング）などに的確に即応しながら遊ぶ。＝認知・感覚・行動・言語・運動・コミュニケーション・人間関係。			
	労作の時間	・報酬制による労働体験。＝運動・感覚・認知・行動・社会性。			
	スキルアップの時間	・検定や資格取得の練習。＝認知・感覚・運動・言語・感覚。			
	探究の時間	・興味や関心に基づく研究や創作活動。＝認知・行動・感覚・言語・運動。			
	運動の時間	・粗大運動やバランス、手足協応、息抜き、楽しさ。＝運動・健康・感覚・コミュニケーション・認知。			
	交流の時間	・多様な友達と出会い、友情を育む。＝コミュニケーション・人間関係・言語・社会性。			
	紡ぎの時間	・思いを伝える。思いをたどる。思いを共感する。思いを言葉にする。思いを考えにする。＝言語・コミュニケーション・認知・感覚・健康。			
	外出（社会科見学・遠足）	・知見を広め、非日常を体験し、楽しみながら友情を育む。＝社会性・人間関係・コミュニケーション・行動・認知・感覚・生活。			
	生徒会	・企画から実施まで自分たちで作り上げていく。＝社会性・人間関係・コミュニケーション・行動・認知・言語・運動。			
家族支援	・進路や学習をはじめとした学校生活に対する相談に応じ、今後の針路を示し、こどもの心の安定を図ることによって、保護者の焦りや狼狽の気持ちや感情を整理していく。 ・学校（教育委員会）や医療機関に保護者と一緒に出向いたり、対応などを共有していくことで、保護者の心細い気持ちや不安な思いに寄り添い、今後の方向性などについて具体化していく。 ・個々こどもの必要に応じて延長支援を行い、保護者の自由な時間の確保を保障する。	移行支援	・学校に復帰できるような状態になったこどもには、そのために準備しなければならないことを、保護者を含め共有し、指導していく。 ・学校に復帰することがわからない子どもには、復帰できることがあるかもしれないため、ある程度はそのためのことを考えておかなければならないことを共有しておく。 ・学校には復帰せず、自分のペースで生きていくことを決めているこどもには、進める道筋・進路を提示し、そのために何をしなければならないかを共有していく。 ・保護者からの進路相談に対応し、特別な支援の必要性や合理的配慮、学習支援、就労支援について共有していく。		

<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を通して近隣の施設に出向き、施設利用者との交流を図る。 ・行事を通して近隣の飲食店やスーパーに出入りし、当教室の存在を知らせ、理解を図る。 ・児相との連携を通して、地域の養育困難高齢児通所施設の一つとして位置付けてもらう。 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期心理、HSC、教科指導法、児童憲章、発達障害などについての研修を行う。 ・「性と生の研修会」（通称：性生研）を作り、子どもたちの性に関する研究と子どもへの指導を行っている。 ・働きやすい環境を提供していくことで、心にゆとりを持ってもらい、今、目の前にしている子たちの厳しい思いを共有確認していくことで、自分の仕事のかけがえのなさなど、重さ、大きさ、意味を自覚してもらい、仕事に対する使命感を育てる。
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合同遠足（実績：浅草花やしき、川越氷川神社、皇居東御苑、池袋演芸場、カップヌードルミュージアム横浜、東京タワー、アニメイト池袋本店、国立科学博物館、東京国立博物館、上野動物園、ボウリング中浦和、いちご狩り東川口、ラウンドワン上尾店） ・社会科見学（実績：都庁展望階、TBS、テレビ朝日、池袋防災館、警視庁、国会議事堂衆議院、国会議事堂参議院、首都圏外郭放水路、川口鋳物工場、さいたま市ごみ処理場、さいたま地方裁判所、国立印刷局） ・調理実習（実績：牛丼、ハンバーグ、カレー、オムライス） ・クッキング（実績：ケーキ、焼肉パーティー） ・近隣飲食店外食（実績：吉野家、王将、麺屋しかて、バーミヤン、楽亭食堂） ・延長支援（実績：夕涼み会）（予定：合宿） ・クリスマス会・ハロウィン 		